



NCC 日本キリスト教協議会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-24 振替 00180-4-75788

TEL : 03-6302-1919 FAX : 03-6302-1920

E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

NATIONAL CHRISTIAN COUNCIL IN JAPAN

JAPAN CHRISTIAN CENTER 24, 2-3-18 Nishiwaseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-0051 JAPAN

Phone : 81-3-6302-1919 Fax : 81-3-6302-1920

E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

総会議長

渡部 信

総幹事

金性済

Rev. Makoto WATABE
Moderator

Rev. Dr. Sungjae KIM
General Secretary

弔 辞

この地上にて 88 年の人生を全うされ、御国に召された故東海林勤先生が天の永遠の命に憩われ、ご遺族の上に限りない神の慰めと平安が満たされますように、心よりお祈り申し上げます。

故東海林勤先生は、1978 年 4 月より、1985 年 3 月まで、日本キリスト教協議会（NCC）の三総会期にわたる総幹事として働かれました。その時代には、韓国における民主化闘争が最も苦しい時期を迎えていました。その時期に、東海林勤（当時）総幹事は、韓国キリスト者の闘いを、戦争責任告白の信仰と深い隣人愛の精神に従い、惜しめない支援と連帯のお働きを担われ、そして朝鮮半島の南北和解と平和統一の課題が世界教会協議会（WCC）の世界的連帯課題として位置付けられる「東山荘会議」（1984 年 10 月 29 日－11 月 2 日）という歴史的な出来事が成就する上でも、NCC 総幹事として測り知れないお働きをなさり、それは歴史の主に導かれ、2018 年 4 月の板門店会談と宣言に至りました。

故東海林勤先生は、NCC、また日韓キリスト教間においてそのようなお働きを担われるに先立ち、早稲田大学 YMC A 学生寄宿舎の舎監をなさっていた時期に、1971 年に国家保安法違反容疑で韓国において拘束された徐勝・徐俊植兄弟の救出運動の先頭に、大学生たちの強い要望に向き合い、応えて立たれることになり、それを契機として、1970 年代初期から、韓国キリスト者たちの民主化運動の支援連帯に深く関わっていくようになりました。

当時のキリスト教会の内外における厳しい時代状況の中で、ひたすら主イエス・キリストのみあとに従いゆかれた故東海林勤先生の信仰とお人柄、そして NCC 総幹事としてのお働きを、わたしたちはしっかりと心に刻んでいく所存であります。

故東海林先生のお連れあいであられ、また虐げられる女性の人権擁護のために貴重なお働きを担い、先立って天に召された故東海林路得子さまと共に故東海林勤先生が、天の青草の原に憩われ、この地上にて東海林先生方の志を継ぐわたしたちの歩みを見守ってくださいますことを、心より祈り求め、御国での再会の日を待ちわびたく思います。

2020 年 8 月 31 日

日本キリスト教協議会

議長 渡部 信

総幹事 金 性済